シラバス年度	2025年度 開講キャンパス			宮崎:	宮崎キャンパス		管理栄養学科			
科目名称	給食経営管理論臨地実習						授業形態実習			
科目コード	309711	単位数	1単位	配当学年		実務経験担当教員	0	Active·L		
担当教員名	棚町 祥子	ı			1			ICT活用		
授業概要	管理栄養士は、基礎的知識として「食品」「調理」「栄養の生体内における代謝」を学び、さらに専門的知識と技能を習得させために対象者の健康レベルに応じた指導法等の学習を深めていく必要がある。実践力を養うために、講義・演習によって理論学び、実習によって知識を深め、技術面の習得ができるように実習を構成し、校外実習として3年前期に「給食の運営」、臨地実習として後期には「給食経営管理論」、「臨床栄養学」、4年次前期に「公衆栄養学」を実施する。病院での給食経営管理業務、栄養管理業務の経験を活かし、業務の実態に即した指導を実習を通じて行う。									
関連する科目	管理栄養士課程における必修・選択科目を修得することが望ましい。									
授業の方法と進め方	実習施設(特定給食施設)での実習計画に則って、給食経営管理に関する業務を実際に経験し学ぶ。 各施設からの課題についはグループワークの形式で取り組む。 課題の提出及びフィードバックは、ユニパで行う。									
第1回	(2) 実習体制 実習は、1 (3) 時期 (給: 1 12~1月:1 2~3 施 習営や応の、 実 実運生発理全理理会理主会 (4) 食原全管を 解決 臨態、 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	人または、、小小 に経習前地会 では、	〜 実選 大 と で と で を で を を で を を の の の の の の の の の の の の の	う。 予定時期より前 、経網野の分析、衛生 、統領の大統領を 、統領の大統領の大統領を 、統領の大統領を 、統領の大統領の大統領を 、統領の大統領の大統領を 、統領の大統領の大統領の大統領の大統領の大統領の大統領の大統領の大統領の大統領の大	全面、経済面全 のマネジメント 特定の業務を済 空で理、従業員 理論の選択必何 いて評価を行い	・ある。 全般のマネジメント能力 ・の基本的な考え方や方 民く探求する実習です。 員への衛生教育、経営分 修3週間を必要とし、員 い、最終的に単位認定は 目を修了していない場合	法を習得しま例えば、喫食析等を通して 「ないに各実に、報告書の評	す。実習の内容 状況の把握、栄 課題を発見し、 習先の管理栄乳 価を含めて本学	学は、 注意・	
授業の達成目標	実習を通して、給食経営管理に必要な専門的知識、技術を修得する。【知識・理解の深化】【態度・志向性】 また、自らの健康や体調管理、時間管理等を行うなど、自律できる行動を養う。 多職種との連携を学び、また自ら協調・協働でして行動でき、実習で率先して行動ができるようになる。【自己管理力の育成】、 【チームワーク・リーダーシップの育成】									
学位授与方針(DP)との関 連	1.知識・理解を応用し活用する能力 - (1) / 2.汎用的技能を応用し活用する能力 - (1) / 3.人間力、社会性、国際性の涵養 - (1) / 人間力、社会性、国際性の涵養 - (2) / 3.人間力、社会性、国際性の涵養 - (4) / 3.人間力、社会性、国際性の涵養 - (5)									
授業時間外学習【予習】	実習先施設の概要等、提供している給食の特徴について調べる。(30分程度) アンケート等の内容の検討、作成をする。(30分程度) 実習施設の献立について調べる。(1時間程度)									
授業時間外学【復習】	実習施設の給食の運営・経営管理の実際等についてまとめ、実習後報告会の資料作成を行う。(1時間30分程度)									
課題に対するフィードバ ック	実習施設からの課題に取り組んだ後、課題内容を確認する。問題点等についてフィードバックを行う。									
評価方法・基準	授業での取組み (30点) 実習先からの評価 (50点) 実習ノート (10点) 報告会発表内容 (10点) 以上を総合的に評価する。									
テキスト	臨地実習「給食	[経営管理論]	実習ノート							

	実習先作成プリント等 必要に応じて参考書を提示する。				
参考書	『大量調理施設衛生管理マニュアル』〔厚生労働省発行〕 『学校給食衛生管理基準』〔文部科学省発行〕 『食に関する指導の手引き一第二次改訂版 - (平成31年3月)』〔文部科学省発行〕 必要に応じて参考書を提示する				
備考	臨地実習4科目から、合計3単位(3週間)以上を選択必修とする。 実習先が指示した参考書・持参物等を事前に準備、実習先に持参すること。				